

編集後記

本号のミニ特集は人間工学分野の横幹的取り組みである。横幹連合の使命の一つに、横断型基幹科学技術を多くの人々に理解してもらい、従来の縦割り型の科学技術にはないイノベーションを起こそうということがあるかと思われる。そのためには、横幹的とはどのようなことを多くの人に理解してもらう必要がある。科学技術の専門家でない人々で政策決定に関わる人々には、横幹の定義を示してみてもなかなか理解してもらうことが難しいのではないだろうか。そこで、具体的に横幹的な研究や開発の事例をわかりやすく示すことによって、横幹を可視化（見える化）する必要があると考えた。

横幹の具体的な事例を考えると、制御技術や統計、シミュレーション技術など、システムにとって必要不可欠であるにもかかわらず、なかなか表面からは見えてこないものが多いのではないだろうか。それは、横幹的技術は陰でシステムを支えるような性格のものであり、表面的には相変わらず従来の縦割りの科学技術が表に出ている

からではないだろうか。最近開通した新青森までの新幹線でも、車両の鼻が長いとか、時速 300 km で走るとか、グリーン車より高級なグランクラスがあるとかいったことばかりが表に出ていて、列車の制御システムとか、安全システムなどについては専門家のみしか知ることができない。このような縁の下の力持ちを見えるようにすることが、横幹誌の役割の1つではないかと考える。またこれまで科学技術という名称からは、ともすれば人間や人間の作った社会のシステムに関する部分が対象からはずれていたような感がある。つまり、人間が関与しなくても、科学や技術はますます発展してきたと考えられてきた気がする。横幹には、社会科学系の学会も加盟しているといっても過言ではあるまい。横幹連合が、そのような意味で、横断型基幹科学技術の中に人間の理解をとりいれてほしいものである。

会誌編集委員会委員長 青木 和夫（日本大学）

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

■ 2010 年度役員

会 長	木村英紀（(独)理化学研究所）	
副 会 長	出口光一郎（東北大学）	安岡義文（(独)国立環境研究所）
理 事	青木和夫（日本大学）	大熊和彦（(株)未来工学研究所）
	太田敏澄（電気通信大学）	木野泰伸（筑波大学）
	小坂満隆（北陸先端科学技術大学院大学）	後藤 彰（(株)荏原製作所）
	税所哲郎（群馬大学）	佐藤吉伸（東京海洋大学）
	舘 暉（慶應義塾大学）	玉置 久（神戸大学）
	田村義保（統計数理研究所）	椿 広計（統計数理研究所）
	仲谷義雄（立命館大学）	布川博士（岩手県立大学）
	野口昭治（東京理科大学）	平井成興（千葉工業大学）
	船橋誠壽（横幹連合）	本多 敏（慶應義塾大学）
	山崎 憲（日本大学）	
監 事	鈴木久敏（筑波大学）	西村千秋（東邦大学）

■ 2010 年度 会誌編集委員会

委 員 長	青木和夫（日本大学）	
副委員長	税所哲郎（群馬大学）	
委 員	大倉典子（芝浦工業大学）	加藤象二郎（愛知みずほ大学）
	金子勝一（山梨学院大学）	樫木哲夫（京都大学）
	庄司裕子（中央大学）	杉野 隆（国士舘大学）
	玉置 久（神戸大学）	椿 広計（統計数理研究所）
	長嶋雲兵（産業技術総合研究所）	奈良高明（電気通信大学）
	三宅美博（東京工業大学）	山田雄二（筑波大学）
	山本正宣（(株)シグナルコンサルタント）	